

令和2年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市鶴見区福祉保健活動拠点

事業報告

1 場の提供について

(1) 場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

- ・利用休止や条件変更等で団体の皆さんにはご迷惑をお掛けすることとなりましたが、指定管理者として区からの指示に応じて適切かつ円滑に運用することができました。
- ・活動休止となる団体も多くありましたが、「今だからできること」を模索している団体に対して寄り添いながら支援し、本来の活動内容とは異なる活動（例：手作りマスク作成等）につなげることができました。
- ・一部の団体には拠点内の活動のみならず、本会が実施する学校での福祉教育等にもご協力いただきました。

(2) 拠点の利用促進に関すること

- ・毎月1日に【拠点利用日調整会】を行い、各団体の譲りあいのなかでスムーズかつ公平に利用調整を行うことができました。
- ・利用状況のWEB公開に向けてルールを検討しました。具体的な運用は次年度以降となる予定です。
- ・2か月の休止や利用条件変更等を含む数字のため、前年と比べ稼働率は下がりましたが、引き続き安心かつ安全にご利用いただけるよう努めます。

令和2年度実績

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	37	71	36	17.9	34.3	19.5
多目的研修室	218	255	186	59.9	66.7	60.0
点字製作室	40	23	0	19.3	11.1	0.0
録音室	73	110	5	35.3	53.1	2.7
対面朗読室	46	62	0	22.2	30.0	0.0

土日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	42	56	3	45.1	60.2	8.1
多目的研修室	156	147	47	75.2	74.1	78.4
点字製作室	6	4	0	6.4	4.3	0.0
録音室	14	27	0	15.0	29.0	0.0
対面朗読室	7	19	0	7.5	20.4	0.0

(3) 拠点のサービスの向上に関すること

- ・窓口満足度調査を実施し、あいさつや対応など各項目で概ね高評価をいただくことができました。
- ・一方で利用状況の掲示が見づらいというご意見をいただきましたので、職員全体で共有し、明確にわかりやすく記入するよう改善しました。
- ・拠点移転当初から課題となっていた録音室の防音設備について、防音ブースを設置し視覚障害者支援の環境の改善を行いました。

(4) 利用調整会議等の開催

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため書面開催にて実施しました。
- ・月1回の【拠点利用日調整会】においても各団体からご意見をいただくように努めています。

開催実績：書面開催（1回）

参加団体：64団体

2 ボランティア業務

(1) ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

<相談・調整・登録>

専任のボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア相談への対応及びボランティア活動の促進を行いました。

関係機関や施設、地域のボランティア団体との連携も踏まえ、ボランティアセンター機能の充実・強化を図りました。

- ・ボランティア募集依頼・活動希望者の受付
- ・ボランティア活動・行事保険に関する相談
- ・機材貸出の相談・受付
- ・情報の収集・整理
- ・記録・統計・ケース会議(ボランティアコーディネーター会議)の開催 など

<ボランティア・市民活動団体分科会>

ボランティア団体同士の連携を高めるため、定期的に分科会を開催し、各団体間での情報共有、連携を図りました。

なお、分科会の開催にあたっては、効率的かつ運営に主体的な参画を得られるよう、会員とともに内容を検討し実施しました。※一部書面開催

<ボランティアセンター運営委員会>

ボランティアセンター事業や善銀配分を適正に行うため年3回運営委員会を開催しました。※書面開催

(2) ボランティアに関する広報、情報提供

- ・情報紙「つるボラ情報」を3回発行し、センター登録者等に送付しました。
- ・区社協情報紙「区社協だより」は年1回の発行となったが、紙面上で地域活動団体（活動を再開した団体や工夫しながら活動を行っている団体等）を紹介しました。
- ・地域活動交流コーディネーター連絡会や生活支援コーディネーター連絡会等を通じて、区社協が把握している情報をお伝えするとともに各地域の状況について共有しました。
- ・拠点廊下に掲示スペースを設け、タイムリーな情報提供を行った。ホームページにも現在募集中のボランティア活動や企業の社会貢献など幅広く掲載し、広報・PRを行いました。

(3) ボランティアに関する相談、紹介

- ・非常勤のボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアに関する相談・紹介を行いました。
- ・コロナ禍で施設等からのボランティア依頼は減少。ボランティア活動希望者に対する支援（マッチング）が難しい状況も見られました。
- ・学生の夏季ボランティア活動も活動場所が限られたが、地域ケアプラザ等との連携により活動につながることができました。

（令和2年度実績）

登録人数	個人	新規	34名
		累計	236名
	団体	新規	0団体
		累計	34団体
依頼件数			50件
紹介人数			12名
調整数			54件

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

- ・現状を踏まえ、活動団体が行う ZOOM 研修会など新たな取組を支援しました。
- ・人材を発掘することを目的として月1回「ボランティア入門講座」を企画していましたが、コロナ禍により延期となりました。次年度以降に改めて企画・実施の予定です。
- ・活動の再開に向けたスキルアップ講座を企画していましたが、1月の緊急事態宣言下により延期となりました。代替手段として講師にメッセージを寄せていただき広報紙に掲載のうえボラセン登録者に送付しました。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

- ・地区社協分科会やボランティア分科会において、地域の活動状況を共有するとともに、ボランティアセンター（区社協）の現状を報告しました。
- ・市社協と寺尾地域ケアプラザとの協働により、寺尾地区をエリアとして「つながりづくり」について協議を行いました。次年度以降、主に社会福祉法人と地域の連携に取り組む予定です。
- ・後見的支援室「りんくるつるみ」との連携により、地域に暮らす障害者の支援について検討を行いました。その過程においては該当エリアの地域ケアプラザにも協力をいただき、日常的な障害者の見守りについて話し合いを行うことができました。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

- ・区社協として協働事務局を務める第4期鶴見・あいねっとの策定を通じて、地域課題の把握・情報共有を進めています。コロナ禍における生活困窮やひきこもり等、地域全体で包括的に支援できるよう取り組んでいきたいと考えます。
- ・地区別計画では、より具体的な項目を盛り込めるよう「支援チーム会議」に参加しています。

4 その他

(1) 職員体制、育成

- ・事務局次長（管理運営責任者）、常勤職員2名、非常勤職員7名の体制で運営を行っています。前出に限らず、区社協職員全員が拠点業務を理解し、積極的に業務に携わっています。
- ・日常的なOJTと合わせて、市社協本部と一体となって作成している人材育成計画に基づき、必要な内外部の研修に参加しています。
- ・衛生会議を開催し、コロナ禍における感染予防やケガの防止等について共有を行いました。またワークライフバランスについて意見交換を実施しました。
- ・指定管理を受ける団体として、法令順守・コンプライアンスについて定期的に確認しました。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

午前9時から午後9時まで開館しました。

日曜及び祝日は、午前9時～午後5時まで開館しました。

また、年末年始の12月29日から12月31日、1月1日から3日までは休館しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、夜間については利用時のみ開館しています。

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

損傷や設備不良については、随時対応し、修繕・整備をしました。

また、時間帯の部屋点検を実施し忘れ物や不良箇所が無いように努めました。

ビル管理業社の定期点検にも協力して施設内の安全につとめました。

<清掃業務について>

日常清掃のほか定期清掃（床の洗浄清掃・エアコン清掃）を実施し、施設内の美化に努めました。

<警備業務について>

夜間・日祝には非常勤職員による巡回を実施し安全管理に努めました。

閉館・休館時は、機械警備により管理しました。

イ 苦情受付体制について

<苦情への対応手順>

鶴見区社会福祉協議会苦情解決規則に沿って、受付担当者（職員）をおき区社協事務局長が苦情解決責任者として速やかに対応できるよう努めました。

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

拠点事務所・拠点内に「苦情解決制度のご案内」を掲示し、周知しました。

拠点内に「ご意見箱」を設置し、要望などに応じられるようにしました。

なお、いただいたご意見とその回答を、窓口の満足度調査の実施結果とともに拠点内に掲示しています。（令和2年度は0件）

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<連絡体制および職員の役割分担>

消防計画に基づき、非常勤を含めた緊急連絡網を整備しています。

また、災害時における職員体制についても明確にしています。

<地域や関係機関との連携体制>

鶴見区や地域団体、個人で組織された鶴見区災害ボランティアネットワークの事務所として日常的に体制を組んでいます。

<防災訓練>

ビル全体の防災訓練や共同防火管理の打ち合わせ等に参加しました。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

<マニュアルの整備状況>

個人情報保護に関する規程を策定しています。

<職員への周知>

全職員に個人情報に関する研修を実施しました。(新年度)

<日常の取組>

書類等のファイル類は、鍵のかかるロッカーに保管しています。

パソコンで個人情報を含むデータを作成する場合にはパスワードを設定し、担当者以外の閲覧を制限しています。

保有する情報は取得目的以外で使うことがないよう、職員に徹底しています。

USBの使用は原則禁止し、やむを得ない場合には、管理職の許可を得た上で使用する事としています。

オ 環境への配慮及び取組について

<ごみの発生抑制に関する取組>

コピー時は両面コピー等を活用しました。

利用者には、ごみの持ち帰りに協力をいただき、拠点利用後は職員や非常勤がごみや忘れ物がないよう声掛けを行いました。

<再利用・再使用に関する取組>

ミスコピー用紙などの裏紙利用に取り組みました。

<リサイクルに関する取組等>

横浜市政策のごみの分別に取り組みました。

ご利用者には空調の適切な温度設定や退出時の消灯にご協力いただきました。

令和2年度 横浜市鶴見区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,522,000	0	14,522,000	14,682,000	△ 160,000	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	0	0	0	213,488	△ 213,488	
印刷代			0	213,488	△ 213,488	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	80,000		80,000	0	80,000	
収入合計	14,602,000	0	14,602,000	14,895,488	△ 293,488	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	8,800,000	0	8,800,000	7,962,986	837,014	
給与・賃金	8,005,000		8,005,000	6,874,587	1,130,413	
社会保険料	600,000		600,000	492,329	107,671	
通勤手当	170,000		170,000	412,370	△ 242,370	
健康診断費	25,000		25,000	6,000	19,000	
勤労者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額			0	177,700	△ 177,700	
事務費	1,383,900	0	1,383,900	1,672,122	△ 288,222	
旅費			0	336	△ 336	
消耗品費	293,000		293,000	291,780	1,220	
会議随費	17,000		17,000	0	17,000	
印刷製本費	174,000		174,000	75,900	98,100	
通信費	559,900		559,900	295,701	264,199	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	150,000		150,000	144,771	5,229	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険			0	4,930	△ 4,930	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料			0	28,820	△ 28,820	
リース料	145,000		145,000	387,588	△ 242,588	
手数料	45,000		45,000	0	45,000	
地域協力費			0	300,000	△ 300,000	
その他			0	142,296	△ 142,296	
事業費	0	0	0	1,727,040	△ 1,727,040	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）			0	1,727,040	△ 1,727,040	
管理費	3,143,000	0	3,143,000	2,999,416	143,584	
光熱水費	870,000		870,000	702,341	167,659	
清掃費	1,000,000		1,000,000	1,696,750	△ 696,750	
修繕費	182,000		182,000	240,900	△ 58,900	
機械警備費	142,560		142,560	168,465	△ 25,905	
設備保全費	948,440	0	948,440	121,000	827,440	
空調衛生設備保守	605,000		605,000	0	605,000	
消防設備保守	20,000		20,000	22,000	△ 2,000	
電気設備保守	20,000		20,000	0	20,000	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	303,440		303,440	99,000	204,440	
共益費			0	0	0	
その他			0	69,960	△ 69,960	
公租公課	567,000	0	567,000	600,000	△ 33,000	
事業所税			0	0	0	
消費税	567,000		567,000	600,000	△ 33,000	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	708,100		708,100		708,100	
支出合計	14,602,000	0	14,602,000	14,961,564	△ 359,564	
差引	0	0	0	△ 66,076	66,076	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	0	0	0	1,727,040	△ 1,727,040	
自主事業 収支	0	0	0	△ 1,727,040	1,727,040	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。